



ご挨拶

グローバル人材育成推進事業、西日本第1ブロック採択9大学共同ワークショップ、「[グローバル]の普遍性について ~ Global Competence in a Global Society with Special Reference to its Universality ~」にご参加いただき有難うございます。

「グローバル人材育成推進事業 (Go Global Japan)」は、若い世代の「内向き志向」を克服し、国際的な産業競争力の向上や国と国の絆の強化の基盤として、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる「人財」の育成を図るため、大学教育のグローバル化を推進する取組を行う事業に対して、重点的に財政支援することを目的とした文部科学省の事業です。

本事業において設定する目標について、大学全体でその達成を目指す「タイプ A (全学推進型)」に採択された 11 大学と、学部・研究科等でその達成を目指す「タイプ B (特色型)」採択の 31 大学、あわせて 42 大学が平成 24 年から 5 年間、大学教育のグローバル化に重点的に取り組み、国内の大学のグローバル化推進に貢献します。

本事業には、4つの地域別ブロックがあり、西日本第1ブロックでは同志社大学・関西学院大学・神戸大学・福井大学・鳥取大学・愛知県立大学・愛知大学・京都産業大学・立命館大学の9大学が採択されています。

「グローバル人材育成推進事業」に採択後はじめての共同事業となる今回は、本事業の方向性や目指すところ、また頻繁に耳にする「グローバル」という言葉の持つ意味についての共通認識を図ることを第一目的に開催いたします。今回のワークショップが、大学の国際化推進の原動力となる教育関係者および学生自身の意識向上や情報共有の一助となることを期待しています。

同志社大学国際連携推進機構
国際化推進室長 林 以知郎

グローバル人材育成推進事業(Go Global Japan)
西日本第1ブロック共同ワークショップ

「グローバル」の普遍性について

~Global Competence in a Global Society with Special Reference to its Universality~

2013 11/23 土・祝



会場

同志社大学
今出川キャンパス
良心館1階 RY107



同志社大学国際化推進室
京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL:075-251-3300 FAX:075-251-3303
EMAIL: ji-gplus@mail.doshisha.ac.jp
URL: www.doshisha.ac.jp
国際センター公式フェイスブック: <http://fb.com/DoshishaU.IC>



主催 グローバル人材育成推進事業(Go Global Japan) 西日本第1ブロック
採択9大学 同志社大学・関西学院大学・神戸大学・福井大学・鳥取大学・
愛知県立大学・愛知大学・京都産業大学・立命館大学

「グローバル」の普遍性について

~Global Competence in a Global Society with Special Reference to its Universality~

プログラム

12:30 開会挨拶 山田 史郎 (同志社大学 副学長 / 国際連携推進機構長)

第1部 講演会「グローバル」の普遍性について

12:45-13:15 龍城 正明 (同志社大学 前副学長 / 前国際連携推進機構長)

13:20-13:50 拓海 広志氏 (海洋・海事ライター&エッセイスト
本名: 恵谷 洋 楽天物流株式会社 代表取締役社長)

第2部 個別発表 学生・企業の視点から

14:00-14:40 「学生が目指す / 考えるグローバル人材とは?」
センゲンド・ケネス・ポール (福井大学 工学部 電気・電子工学科 4年)
萩原 俊博 (鳥取大学 地域学部 地域政策学科 4年)

14:40-15:20 「京セラのグローバル展開と求める人材像」
大西 実氏 (京セラ株式会社 人事部 人材開発部 人材開発部長)

「企業が求めるグローバル人材とは?」
久田 浩司氏 (オムロン株式会社 人財総務センター グローバル人財開発部長)

15:20-15:50 ~ Coffee Break ~

第3部 パネルディスカッション (質疑応答含む)

15:50-17:20 コーディネーター 神余 隆博 (関西学院大学 副学長 / 国際連携機構長)
パネリスト

企業関係者 (3名): 第1部・第2部登壇者

大学関係者 (1名): ジェシー・オルセン (関西学院大学 国際学部准教授)

学生 (4名): 第2部登壇者

フィジオ・サラ・ロンガット (愛知県立大学 外国語学部 英米学科 3年)

岸田 祐未子 (愛知大学 現代中国学部 現代中国学科 4年)

総括

17:30 総括 龍城 正明 (同志社大学 前副学長 / 前国際連携推進機構長)

17:50 閉会挨拶 神余 隆博 (関西学院大学 副学長 / 国際連携機構長)

情報交換会

18:15-19:45 会場: 寒梅館1階
レストラン「アマーク・ド・パラディ」



プロフィール

拓海 広志氏

海洋・海事ライター
&エッセイスト
(本名: 恵谷 洋
楽天物流株式会社
代表取締役社長)



人と海の関係性を多面的に探究することをライフワークに、世界と日本各地の海を訪ね、旅先で出会った海人たちから学んだことを次代を担う子どもたちに伝えるため、執筆や作詞・作曲などを行う。
また、ミクロネシアで伝統的帆船カヌーによる航海プロジェクトを実現するなど、古代の航海術についても探究。著書に『ビジュアルでわかる船と海運のはなし』がある。
本名は恵谷洋。伊藤忠、DHL、TNTでの勤務を経て、現在は楽天物流株式会社の代表取締役社長を務める。

大西 実氏

京セラ株式会社
人事部
人材開発部
人材開発部長



1984年京セラ株式会社へ新卒で入社。光学機器事業本部国内営業部大阪営業所に配属。1990年グループ長(係責任者)に任命された後、いくつかの役職を歴任し、大阪営業所副所長、1999年には名古屋営業所所長となる。2003年光学機器事業本部営業部責任者として上海へ赴任。
2005年総務人事部人事企画部人材開発課へ異動し、人事・採用業務へキャリアチェンジを果たす。
2008年総務人事部人事企画部人材開発部責任者。2013年人事部人材開発部長(事業部)。現在は採用および教育の責任者を務める。

久田 浩司氏

オムロン株式会社
人財総務センター
グローバル人材開発部
部長 (経営基幹職)



1987年4月立石電機株式会社(現オムロン株式会社)に入社。海外・国内の流通事業向けソフトウェア開発などに携わる。
2002年7月より金融機関向け機器の商品企画、社会システム事業の経営企画、2005年12月より鉄道事業者向けソフトウェア開発マネジメントに従事。2007年10月より鉄道事業者担当事業統括部長、2010年4月より社会システム事業の企画室長を歴任。
2012年4月より人財総務センターグローバル人材開発部長を務める。

センゲンド・ケネス・ポール

福井大学
工学部
電気・電子工学科
4年



ウガンダ・カンパラ出身。
2009年に来日し、大阪日本語教育センター、大阪電子専門学校にて学んだ後、現在は2012年4月より福井大学に留学中。日本で進学・就職し、経験を積んだ後、母国の大学でアフリカと日本の架け橋として活躍できるような仕事を希望している。

萩原 俊博

鳥取大学
地域学部
地域政策学科
4年



山梨県出身。
山里の聞き書きプロジェクトや地域づくりの現場に関わる中で、日々勉強を続けている。調査を通じ、これまで受け継がれてきた知恵や技術を次世代へとつなぐため、一人でも多くの人がある在り方を考える必要性を痛感した。

フィジオ・サラ・ロンガット

愛知県立大学
外国語学部
英米学科
3年



ブラジル・カンピナス出身。
13歳の時に来日し、日本で育つ。日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語のほか、現在、中国語、韓国語、イタリア語を勉強中。将来の目標は大学のポルトガル語教師。今はできるだけ多くの言語を学び、教師になるための経験として、ブラジル人に日本語を教えている。大学では教員免許を取得予定。卒業後は大学院への進学を希望。

岸田 祐未子

愛知大学
現代中国学部
現代中国学科
4年



名古屋出身。
中国(2005年4月~2008年6月、2年超)とシンガポール(2011年4月~同年12月、9か月)への留学経験を持つ。愛知大学の「さくら21プロジェクト」や北京の華堂商業有限公司(イトーヨーカ堂)でのインターシップなどを通じ、積極的に国際交流に関わっている。将来の目標は、経験や語学力を国際ボランティアに活かすこと。